

ヒューマンハーバー



9・10月号 協同組合ハイコープ組合報
Vol.204 2012年(平成24年)9月25日(火)発行



◆8/25 長野地区本部事業 日帰り研修
「霧ヶ峰トレッキング」
初秋の湿原と草花を訪ねて

CONTENTS

巻 頭	1
高速道利用料金別納カードの共同利用	2
高速道路の無料化と組合の対応	2
高速道路利用料金無料化が頓挫して	3
組合で取り扱う高速道路料金	3
別納カードの特典	
消費税増税に対する経営者の声	4
消費税増税は何のために	5
誰のために行なうのか	
長野地区本部事業報告 日帰り研修	5
「初秋の霧ヶ峰トレッキング」	
経営図書紹介・スケジュール	6
PETIT情報・編集後記	6

激動する世界経済

9月に入り世界経済は混沌として来ました。いっこうに上向かないアメリカの景況。FRBもついに金融緩和政策第3段となるQE3を発表しました。

欧州危機によるユーロの相次ぐ金融緩和、不動産バブル状態にある中国経済の失速打破のための金融緩和、ブラジル、インドはじめ新興工業国の金融緩和。そして日本は与野党入り交じって曰く「日本経済を良くするための方策ははっきりしている。まずはデフレを脱却することだ。それには更なる金融緩和をすることで円の発行量を増やすことである。このため日銀に対して一層の努力をお願いしたい」というわけです。

いくなれば世界中で紙幣を刷れ、中央銀行にもっと役割を演じさせろの大合唱となってきました。

そんな中、折しも中東の情勢がきな臭さを増してきています。リビア米国大使館襲撃事件、関係諸国の代理戦争ともいわれる激化するシリアの内戦。ききめのないイランに対するアメリカの禁輸政策に不満をあらわにしてきたイスラエル。こんな中東情勢の緊迫がいつ暴発し石油資源が高騰するか。

更には、アメリカ穀倉地帯の60%が極度の干ばつに襲われ既にトウモロコシが高騰、関連商品の値上げが顕著になってきました。大豆、小麦も同様高騰必死の状況と伝えられています。

以上インフレの火種がいろんな形でくすぶる中、薄氷の上にいるような現在の借金だらけの日米欧、ひとたび事が起これば今のマネー供給制度はインフレの暴発によって大崩壊し、